

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（東京書籍 精選言語文化

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 現代仮名遣い・歴史的仮名遣い・発音にしたがうカタカナ表記等に注意させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「ハ行転呼音」「長音の区別」について特に注意を促すために演習に取り組ませる。 【学びに向かう力、人間性等】 古典学習の導入として興味関心をもたせる。	・指導事項 歴史的仮名遣いの読み方を理解し、正確に読めるようにする。 ・教材 「古典学習のしるべ」	○	○	○	【知技】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】 ・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って読話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	2
	B 単元 【知識及び技能】 説話の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単語の意味や古典的な表現に注意して口語訳し、登場人物の言動をよくよみとる。 【学びに向かう力、人間性等】 国語図説等の資料を利用して、説話というジャンルについて理解を深める。	・指導事項 歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを読み取る。 ・教材 「兄のそら寝」「絵仏師良秀」	○	○	○	【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】 ・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って読話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 単語の意味や古典的な表現に注意して口語訳し、登場人物の言動から、筆者の主張をよくよみとる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の内容を把握し、全体の構成と段落の関係をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 師の言葉の中にある教訓が弓の修練だけににとどまらないことを、日常生活の体験の中から想起する。	・指導事項 話のあらすじを読み取り、筆者のいうところの「戒め」について理解する。 ・教材 「ある人、弓射ることを習ふに」	○	○	○	【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】 ・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って読話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 小説の基本設定を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の内面的変化を、そのきっかけと関連づけて読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 翻案作品と原作を読み比べ、相違点から時代背景や筆者のテーマの中心について考える。	・指導事項 ・教材 「羅生門」 一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、登場人物の心機の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	E 単元 【知識及び技能】 漢文および訓読とは何かについて基礎知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 故事成語の背景を知り、漢文への興味・関心を持つ。 訓読・書き下し文・現代語訳ができるようにし、訓点を施せるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 文法解説書の演習問題等に積極的に取り組む姿勢を身につける。	・指導事項 漢文訓読に関する基本的な知識および漢文の基本構造について確認する。 ・教材 「訓読の基本」「矛盾」	○	○	○	【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を読み、内容の解釈を捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】 ・進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった語を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	○	○	○	6
	F 単元 【知識及び技能】 単語の意味や古典的な表現に注意して口語訳し、表現技法や論理的な展開から、筆者の考える「無常観」について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 話の内容を把握し、対句や比喩など独特な表現に注意しながら、全体の構成と段落の関係をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 「羅生門」の下敷きになっている時代背景について、視覚資料等を確認する。	・指導事項 ・教材 「方丈記」 一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主】 ・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って読話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和7年度（2学年用）教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

使用教科書：（東京書籍 精選論理国語）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・聞	書 読					
1 学 期	A 単元 評論読解 【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 表現の特徴 筆者の主張 ・教材 「いつもそばには本があった」 國分功一郎 「ミロのヴィーナス」清岡卓行	○	○ ○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来ている。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来ている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	6
	B 単元 意見文作成 【知識及び技能】 主張とその前提など、情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、主張を支える適切な根拠をそろえる。 【学びに向かう力、人間性等】 言語によって自分の考えを他者に伝えようとする。	・指導事項 情報の適切な収集 論理的な構成 論理的な表現 ・教材 論理の力 一人1台端末を活用		○	・論証に必要な情報を適切に収集することが出来ている。 ・自己の主張を支える論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	4
	定期考査					○	○	○	1
	C 単元 評論読解と比較 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開を理解し、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の比較を通して人間関係の在り方について自分の考えを深めようとする。	・指導事項 問いと主張の関係 評論の比較 ・教材 「分人とは何か」平野啓一郎 「メディアの変容」土井隆義	○	○ ○	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 ・筆者の主張を読み取り、人間関係について考えを深めようとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	8
	D 単元 文章を読み、比較して考えを深める 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 社会的な話題について書かれた文章を参考にして、自分の考えを文章にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手を意識して、分かりやすい構成を工夫する。	・指導事項 文章を比較して自己の考えをまとめる ・教材 「分人とは何か」平野啓一郎 「メディアの変容」土井隆義		○ ○	・異なる論点をもつ文章を比較し、共通点や相違点を整理して論じることができる。 ・自己の主張を支える論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	5
	定期考査					○	○	○	1
2 学 期	E 単元 評論読解 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章中に紹介された考え方をもとに、自分の考えを深める。	・指導事項 要旨の把握 論理的な展開の理解 ・教材 『リスク』と『リスク社会』」神里達博 『環境』とは何か」上柿宗英	○	○ ○	・人間、社会、自然などについて、多様な論点や異なる価値観を学び、自分の考えを深めている。 ・文章中に紹介された主張を的確に理解している。 ・文章中に紹介された考え方をもとに、自分の考えを深めようとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	9
	F 単元 評論の要約 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成を的確に捉え、要約する。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手を意識して、分かりやすく正確な構成を工夫する。	・指導事項 異なる人物の主張の要約 文章の一部の要約 ・教材 『リスク』と『リスク社会』」神里達博 『環境』とは何か」上柿宗英		○ ○	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・同じ題材に関する異なる人物の主張をまとめ、論点を把握している。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	4
	定期考査					○	○	○	1
	G 単元 評論読解 【知識及び技能】 論証や学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開を理解し、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 「である」価値と「する」価値について自身に引き寄せて考え、社会に対する理解を深める。	・指導事項 二項対立の論理展開の理解 具体例と主張の関係の理解 ・教材 『である』ことと『する』こと」丸山眞男 『科学的『発見』とは』小川眞理子	○	○ ○	・文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・二項対立の論理展開や具体例と筆者の主張との関係を捉える。 ・「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、ものの見方や考え方をやしなおとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。	○	○	○	10
	H 単元 仮説を立てて検証する 【知識及び技能】 主張とその前提など、情報と情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマについて情報収集して仮説を立て、論理的な構成を考えて論証する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に情報収集を行い、読み手を意識して、分かりやすい構成を工夫する。	・指導事項 情報の適切な収集 論理的な構成 論理的な表現 ・教材 仮説を立てて検証する（探究編） 一人1台端末を活用		○ ○	・論証に必要な情報を適切に収集することが出来ている。 ・自己の主張を支える論理的な構成が出来ている。 ・他者に伝えることを意識して、論理的な説明を構成する態度をやしなうことができる。	○	○	○	4
	定期考査					○	○	○	1

[illegible]

翔陽 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 東京書籍 精選論理国語 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 評論読解 【知識及び技能】 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 記号論について理解を深める。 近代の意味について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握し、よみとった内容を適切に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、考えを深めようとする。	・指導事項 表現の特徴 筆者の主張 記号論 ・教材 「言語と記号」丸山圭三郎 「環境問題と孤立した個人」河野哲也 ・小テスト2回実施	○	○	○	・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来る。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。 ・記号論や近代の問題について理解できている。 ・語彙の知識をもとに、適切に漢字を書くことが出来る。	○	○	○	6
	B 単元 問題演習 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 本文の内容をもとに、論理的に思考し、推論する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 漢字・語句の意味 読み比べ 筆者の主張 選択肢の吟味 ・教材 共通テスト対策問題演習		○	○	・漢字や語句の意味について理解できている。 ・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来る。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	3
	定期考査						○	○	○	1
	C 単元 評論読解と比較 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開を理解し、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 身体論や歴史論について自分の考えを深めようとする。	・指導事項 表現の特徴 筆者の主張 論理の展開 身体論 歴史論 ・教材 「読み書きする身体」港千尋 「原始社会の真実」新納泉 ・小テスト2回実施	○	○	○	・論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・筆者の主張を読み取り、身体論・歴史論について考えを深めようとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。 ・語彙の知識をもとに、適切に漢字を書くことが出来る。	○	○	○	8
	D 単元 問題演習 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 データの読み取りについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 本文の内容をもとに、論理的に思考し、推論する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 実用文とデータの読み取り 漢字・語句の意味 読み比べ 筆者の主張 選択肢の吟味 ・教材 図表の読み取り方（教科書コラム） 共通テスト対策問題演習		○	○	・データと文章の比較をして読み取ることができる。 ・漢字や語句の意味について理解できている。 ・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来る。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1

2 学 期	E 単元 評論読解 【知識及び技能】 論証や学術的学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握する。 国民国家論について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章中に紹介された考え方をもとに、自分の考えを深める。	・指導事項 要旨の把握 論理的な展開の理解 筆者の主張 国民国家論 ・教材 「社会の壊れるとき」 鷲田清一 ・小テスト2回実施	○	○	○	・国民国家論について理解し、多様な論点や異なる価値観を学び、自分の考えを深めている。 ・文章中に紹介された主張を的確に理解している。 ・文章中に紹介された考え方をもとに、自分の考えを深めようとしている。 ・読み取った内容を文にまとめて表現することができる。 ・語彙の知識をもとに、適切に漢字を書くことができる。	○	○	○	7	
	F 単元 問題演習 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 本文の内容をもとに、論理的に思考し、推論する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 漢字・語句の意味 図表・グラフの読み取り 筆者の主張 選択肢の吟味 ・教材 共通テスト対策問題演習		○	○		・グラフや図表等のデータと文章を比較し、内容を読み取ることができる。 ・漢字や語句の意味について理解できている。 ・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来る。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	7
	定期考査							○	○	○	1
	G 単元 問題演習 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 大学入試の過去問演習を通じて、思考力・判断力・表現力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に取り組む。	・指導事項 漢字・語句の意味 具体例と主張の関係の理解 筆者の主張 選択肢の吟味 根拠に基づく記述回答の作成 ・教材 大学入試過去問（評論）	○	○	○		・漢字や語句の意味について理解できている。 ・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来る。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・根拠を明確にして、記述の解答を作成することができる。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	7
3 学 期	H 単元 問題演習 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 本文の内容をもとに、論理的に思考し、推論する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 漢字・語句の意味 図表・グラフの読み取り 筆者の主張 選択肢の吟味 ・教材 共通テスト対策問題演習		○	○	・漢字や語句の意味について理解できている。 ・グラフや図表等のデータと文章を比較し、内容を読み取ることができる。 ・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来る。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	7	
	定期考査							○	○	○	1
	I 単元 問題演習 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。	・指導事項 漢字・語句の意味 図表・グラフの読み取り 筆者の主張 選択肢の吟味 ・教材 共通テスト対策問題演習		○	○		・漢字や語句の意味について理解できている。 ・グラフや図表等のデータと文章を比較し、内容を読み取ることができる。 ・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来る。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	3
	J 単元 大学入試対策個別指導 【知識及び技能】 漢字や語句の意味や使われ方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に取り組む。	・指導事項 漢字・語句の意味 具体例と主張の関係の理解 筆者の主張 選択肢の吟味 根拠に基づく記述回答の作成 ・教材 大学入試過去問（評論）		○	○		・表現の特徴に注意して評論を読むことが出来る。 ・筆者の主張や考えを的確に捉えることが出来る。 ・根拠を明確にして、記述の解答を作成することができる。 ・読み取った内容を応用して、適切に選択肢を吟味することができる。	○	○	○	12
											合計
											70

翔陽 高等学校 令和 7 年度（3 学年用） 教科 国語 科目 現代文学

單位數： 2 單位

の特質を理解し適切に

中で伝え合う力を高め

感覚を磨き、我が国の
態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

[illegible]

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教 科： 国語 科 目： 古典探究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ 東京書籍 精選古典探究 古文編・漢文編 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準				知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読								
1 学 期	A 単元 説話（古今著聞集） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 説話の内容と和歌の関係に関心をもち、二つの和歌の共通点を考える。	・指導事項 語句の意味 助動詞の復習 古典常識 ・教材 「成方といふ笛吹き」（十訓抄）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や展開を的確に捉えている。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。	○	○	○				7
	B 単元 小話（十八史略） 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、ものの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、故事成語の果たす役割を考える。	・指導事項 語句の意味 訓読法 故事成語 ・教材 「先従隗始」（十八史略）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・訓読の決まりについて理解を深めている。 ・構成や展開などを的確に捉え、ものの見方や考え方を深めている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	○	○	○				5
	定期考査									○	○	○	1
	C 単元 歌物語（伊勢物語） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動の意図に関心をもち、作品に現れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとする。	・指導事項 歌物語 語句の意味 和歌の修辞 古典常識 ・教材 「初冠」（伊勢物語）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や展開を的確に捉えている。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・歌物語の構成を的確に捉え、和歌の内容や登場人物の意図について考えようとしている。 ・登場人物の行動の意図に関心をもち、作品に現れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○				10
	D 単元 小話（十八史略） 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、ものの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、故事成語の果たす役割を考える。	・指導事項 語句の意味 訓読法 故事成語 ・教材 「完璧帰趙」（十八史略）・	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・訓読の決まりについて理解を深めている。 ・構成や展開などを的確に捉え、ものの見方や考え方を深めている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	○	○	○				6
	E 単元 随筆（枕草子） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、敬語法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 書き手の考えや意図を捉えて内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の内容をもとに、平安時代の後宮生活について考えを深めようとする。	・指導事項 『枕草子』の文学史 日記的章段の理解 敬語法 ・教材 「中納言参り給ひて」（枕草子）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古文の敬語法を学び、敬語の種類や意味、敬意の方向について理解している。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・登場人物の心情や作者の心情を理解し、平安時代の後宮生活について考えを深めようとしている。	○	○	○				8
	定期考査									○	○	○	1

2 学 期	F 単元 随筆（徒然草） 【知識及び技能】 文の成分の照応、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 特有の表現に注意して、書き手の考えや意図を捉えて内容を的確に解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 作者の主張について理解し、ものの見方、考え方、感じ方を深める。	・指導事項 語句の意味 論理構成（対比） ・教材 「花は盛りに」（徒然草）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・文の成分の照応や、対比の関係に注意して内容を的確に捉えている。 ・特有の表現に注意して、書き手の考えや意図を捉えて内容を的確に解釈する。 ・作者の主張について理解し、自身のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	6
	G 単元 史記 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を理解する。 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しむ。 【思考力、判断力、表現力等】 成立した背景を踏まえながら作品を読み、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 『史記』に関心をもって調べ、調べたことを工夫してまとめる。	・指導事項 語句の意味 訓読法 『史記』の文学史 ・教材 「鴻門之会」（史記） ・一人1台端末活用	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、訓読の決まりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しもうとしている。 ・時代背景をふまえて、作品の構成や展開などを的確に捉えて読もうとしている。 ・『史記』に関心をもって調べ、調べたことを工夫してわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	7
	H 単元 日記文学（更級日記・蜻蛉日記） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日記文学の性質を踏まえて、書き手の考えや意図を捉えて内容を的確に解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 女流日記文学について理解し、作者の置かれた境遇や心情を読み取る。	・指導事項 日記文学 古典常識 ・教材 「門出」（更級日記） 「なげきつつひとり寝る夜」（蜻蛉日記）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・日記文学の性質を踏まえて、書き手の考えや意図を捉えて内容を的確に解釈している。 ・女流日記文学について理解し、作者の置かれた境遇や心情を理解し、自身のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
3 学 期	I 単元 作り物語（源氏物語） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品全体の構造を踏まえて、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の言動や作品の概要について考察しようとする。	・指導事項 『源氏物語』の文学史 敬語法 和歌の修辞 ・教材 「光源氏の誕生」（源氏物語） 「若紫」（源氏物語）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や展開を的確に捉えている。 ・作品全体の構造を踏まえて、内容を的確に捉えている。 ・和歌に表れた人物の心情を的確に捉えている。 ・登場人物の言動や話の内容について考察しようとする。	○	○	○	11
	J 単元 近体詩 【知識及び技能】 漢詩の決まりや修辞などの特色について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品が成立した背景を踏まえて、作品の解釈を深め、作品について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩を読み味わい、言語感覚や想像力を豊かにする。	・指導事項 漢詩の決まり 漢詩の文学史 ・教材 「江雪」 「黄鶴楼」 ・一人1台端末活用	○	○	○	・漢詩の決まりや修辞などの特色について理解している。 ・社会情勢や作者の人生など、作品が成立した背景を理解して作品の解釈を深め、作品について考察している。 ・漢詩の言葉の響きやリズムを読み味わい、言語感覚や想像力を豊かにしている。	○	○	○	5
	K 単元 思想（論語・孟子・老子） 【知識及び技能】 諸子百家の思想とその影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思想の知識を生かして、文章の内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 それぞれの思想について、自分自身の考えをまとめる。	・指導事項 儒家思想 道家思想 ・教材 「司馬牛問君子」（論語） 「仁人心也、義人路也」（孟子） 「無用之用」（老子）	○	○	○	・諸子百家の思想の背景とその影響、儒家と道家の思想について理解している。 ・思想に関する知識を生かして、文章の内容を理解している。 ・儒家と道家の思想について、自分自身の考えをまとめている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
3 学 期	L 単元 歴史物語（大鏡） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、文章の構成や展開の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品全体の構造を踏まえて、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 『大鏡』に関心をもって調べ、調べたことを工夫してまとめる。	・指導事項 歴史物語 ・教材 「雨林院の菩提講」（大鏡） 「花山天皇の出家」（大鏡） ・一人1台端末活用	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・『大鏡』の特色を踏まえて、場面や展開を的確に捉えている。 ・登場人物の言動や話の内容について考察しようとする。 ・『大鏡』に関心をもって調べ、調べたことを工夫してわかりやすくまとめようとしている。	○	○	○	10
	M 単元 文（漁父辞） 【知識及び技能】 道家思想を理解し、の修辞などの特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 思想に関する知識をいかして、漁父辞に表れた二つの価値観を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に表れた二つの生き方について考えを深める。	・指導事項 道家思想 対句的表現の効果 ・教材 「曳尾於塗中」（莊子） 「漁父辞」（屈原）	○	○	○	・道家思想を理解し、「漁父辞」の対句表現の特色などを理解している。 ・思想に関する知識をいかして「漁父辞」に表れた二つの価値観を読み取っている。 ・「漁父辞」に表れた二つの価値観に基づく生き方について考えを深めている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○	○	1
										合計
										105

[illegible]

翔陽 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典読解演習

教科：国語 科目：古典読解演習 単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

使用教科書：（東京書籍 精選古典探究 古文編・漢文編）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典読解演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 日記（紫式部日記） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 古典常識の知識を生かして、場面や心情を考える。	・指導事項 語句の意味 助動詞の復習 和歌の修辞 古典常識 ・教材 「女郎花」（紫式部日記）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、場面や心情を的確に捉えている。 ・古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・和歌の内容を適切に理解し、和歌を詠んだ人物の心情について考えようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 古詩（杜工部集） 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 古詩の構成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、ものの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、古詩の構成やきまりの知識をもとに人物の心情や当時の社会情勢を考える。	・指導事項 語句の意味 訓読法 漢詩のきまり（古詩） ・教材 「石壕吏」（杜甫）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・訓読の決まりについて理解を深めている。 ・詩の構成や展開などを的確に捉え、ものの見方や考え方を深めている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、当時の社会情勢や人々の生活について考えようとしている。	○	○	○	6
	C 単元 問題演習 【知識及び技能】 古文・漢文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。 協働的な学習活動を通じて、積極的に議論し、理解を深める。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 大学入試対策問題演習 共通テスト対策問題演習	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典文法等の基礎知識を復習し、実践的に活用している。 ・漢文の訓読法や句形について理解を深めている。 ・古典常識や基礎知識を生かして本文の内容を理解し、問題演習に取り組んでいる。 ・読み取った内容をもとに、記述の解答をまとめたり、選択肢を吟味したりしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○	○	1
	D 単元 評論（無名抄） 【知識及び技能】 語句の意味や用法、作品の背景となる知識を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 会話文中に会話文が引用された構造を理解し、人物の心情や意図に注目して、作品に現れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の社会における和歌の役割や意義に関心を持って学習に取り組む。	・指導事項 歌論 語句の意味 和歌の修辞 古典常識 ・教材 「おもて歌のこと」（無名抄）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典常識の知識を活用して、会話の内容や展開を的確に捉えている。 ・古文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・会話文の構成を的確に捉え、和歌の内容や人物の意図について考えようとしている。 ・登場人物の意図に関心をもち、作品に現れているものの見方、感じ方、考え方を読み取るうとしている。	○	○	○	4
	E 単元 思想（老子・韓非子） 【知識及び技能】 語句の意味や用法を理解し、訓読法を復習する。 諸子百家の思想について復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開を捉え、ものの見方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に親しみ、諸子百家の思想の果たした役割を考える。	・指導事項 道家の思想 法家の思想 語句の意味 訓読法 ・教材 「天下莫柔弱於水」（老子） 「無為之治」（老子） 「侵官之害」（韓非子）	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・訓読の決まりについて理解を深めている。 ・道家思想、法家思想について理解している。 ・構成や展開などを的確に捉え、ものの見方や考え方を深めている。 ・進んで漢文の読み方を確認し、諸子百家の思想の果たした役割について考えようとしている。	○	○	○	6
	F 単元 問題演習 【知識及び技能】 古文・漢文の基礎知識を復習する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の知識を生かして、内容を理解し、本文の内容をもとに問題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 大学入試を意識して、主体的に演習に取り組む。 協働的な学習活動を通じて、積極的に議論し、理解を深める。	・指導事項 語句の意味 古典文法の知識 漢文訓読法、句形等の知識 古典常識 ・教材 大学入試対策問題演習 共通テスト対策問題演習	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解している。 ・古典文法等の基礎知識を復習し、実践的に活用している。 ・漢文の訓読法や句形について理解を深めている。 ・古典常識や基礎知識を生かして本文の内容を理解し、問題演習に取り組んでいる。 ・読み取った内容をもとに、記述の解答をまとめたり、選択肢を吟味したりしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○	○	1

[illegible]